

## 産業委員会

市の産業経済部、農業委員会の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎森岡和雄 ○久永良一 北本周作 黒見節子  
竹内邦彦 竹内靖人 津本憲一

今期定例市議会において、産業委員会に付託された議案一件について、去る九月二十日に委員会を開催し、慎重に審査をした。

議案第七号「平成二十三年度津山市一般会計補正予算(第一次)」のうち、当委員会の所管に属する事項については、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

審査の過程において、委員から出された主な質問や意見は、次のとお

りである。

まず、農地・水・保全管理支払交付金事業について質疑がなされ、当局から、二十三年度から五年間の予定で実施され、本年度の七地域、三百四十八ヘクタール分の予算を計上しているとの答弁があった。

また、本年度で終了予定の共同活動支援について、もっと取り組みやすい事業として継続できるように、国に求めていくべきではないかとの意見に対し、当局からは、まだ国から正確な情報は入っていないが、地域が取り組みやすい事業となるよう、県を通じて国にも働きかけをしたいとの答弁があった。

次に、農商工連携販路拡大物産展事業負担金について質疑がなされ、当局から、十一月十九日、二十日両日に鶴山公園で開催を予定している地域産品まつりの宣伝経費や初期費

用として、岡山県の「頑張る地域応援事業補助金」を活用するものであり、この機会を通じて、多くの方々から意見をいただき、今後の商品開発や特産品開発に活かしていきたいとの答弁があった。

次に、院庄工業団地の下水道工事について質疑がなされ、当局からは、今年度、実施設計を行ったところ、工事費の増額が発生したもので、その主な内容としては、企業の今後の設備投資計画にも対応できるように、配管の延長と口径を変更するものであるとの答弁があった。

次に、農地費における用地購入費について質疑があり、当局からは、久米地域の圃場整備事業に伴う換地処分において、新たに農道や水路となった部分についてのものであるとの答弁があった。

その他、地域材利用新築住宅補助

金に関連して、委員からは、市民に対して、森林の持つ公益的機能や、地域材需要拡大の重要性について、もっと認識してもらう必要があるのではないかと意見が出され、当局からは、広報つやま十月号において、表紙を含め四ページの特集記事を掲載する予定にしている。引き続き、機会あるごとに、森林の持つ有益性について、広報していきたいと考えているとの答弁があった。



◎ 政治家に対し、寄付を出すように勧誘や要求することは禁じられています。